

令和5年度 第2回学校運営協議会報告

1 日 時：令和5年11月17日（金） 午前10時から正午まで

2 場 所：静岡県立東部特別支援学校伊豆高原分校

3 出席者：島田 晴夫 様（元伊東市立中学校教諭）
荻野 耕介 様（伊豆介護センター）
田畑 まどか 様（特定非営利活動法人 絆翔）
栗田 幸治 様（伊豆伊東高等学校PTA会長）
望月 正仁 様（NPO法人伊豆高原BASE）
高村 千夏 様（PTA会長）

学校：増井（教頭）、小松（部主事）、佐藤（教務課長）

4 内 容 司会、記録（増井）

(1) 教頭挨拶

(2) 学校運営の進捗状況

<ご意見>

○伊豆高原の入学生はみんな特支卒業生？

・半分程度は支援級

○支援級の生徒の進学先はどのようなものがあるか。

・以前は支援級の生徒は支援学校へ、というのがパターン化されていた。現在は選択肢が増えてきている。進路相談でも定時制、単位制、職業訓練校など考えている生徒もいる。

(3) 現場実習報告会参観

<ご意見>

○Aグループの生徒も発表の間は黙って座って話を聞いている。素晴らしい。これまでの指導の成果ですね。

○卒業後の進路について。就労率はどの程度か

・3割程度が事業所、他は、就労移行、就労支援、生活介護、職業訓練校等自宅待機はさせたくないが、外に出るのが難しい生徒もいる（小中の時からの支援体制の確立の必要性）

○就労できる場所が少ない。どのように情報を得ているか。学校の紹介か

・保護者からの情報提供もありがたい。企業との懇談、他校との情報共有等している。

(4) 意見交換

<ご意見>

○思ったより高校生も落ち着いた生活をしており、特支生も見ている。今後、交流の場面が増えていければ。

○まずはお互いを知るところから。